



意外と身近に、危険物

－教えて!!セルフスタンドでの給油方法－

ドライバー自身が給油するセルフ方式の給油取扱所（セルフスタンド）は私たちの生活に身近で、欠かせない存在となっています。しかしそこで扱うガソリンは、**大変危険な物だ**ということを皆さんは認識していますか？セルフスタンドにはドライバーが安全に給油できるための工夫がなされていますが、取り扱い方法を誤ると思わぬ事故につながります。

⚠ ガソリンってなぜ危険なの？

ガソリンは揮発性が高い液体で、揮発した蒸気（ベーパー）は極めて燃えやすい！！
ベーパーは空気より重く、低いところに広範囲に滞留しやすい！！
ベーパーは目に見えず、どこに溜まっているかわからない！！
日本中どこでも、火源があれば簡単に燃えてしまう可能性あり（引火点が低い）！！
だからとっても**危険**なんです！！（危険物として消防法で規制されています。）

ガソリンベーパー引火
（動画）はこちら→



こんな事故事例が...

事故 1 静電気除去シートに触れたが、給油口付近から炎が上がった事例

発生年月：平成 23 年 1 月
発生場所：神奈川県
発生原因：手袋を着けたまま、静電気除去シートに触れたために静電気が除去できず静電気火花が発生し、ベーパーに引火した。



注：給油の際は手袋を外してね！！

事故 2 給油ノズルを止まる位置まで差し込まなかったため、ガソリンが溢れた事例

発生年月：令和 2 年 2 月
発生場所：東京都
発生原因：給油ノズルの差し込みが不十分であったため、オートストップ機構が満タンを検知できずガソリンが溢れてしまった。さらにとっさに給油口から引き抜いたが、給油ノズルのレバーを握ったまま引き抜いたため、ガソリンが漏れてしまった。



注：給油ノズルは奥まで差し込んでね！！



セルフスタンドで安全に給油するためには…

- ・エンジン停止！！
 - ・静電気を除去！！
 - ・一人で給油！！
 - ・給油ノズルは止まる位置（給油口の奥）まで差し込む！
 - ・操作で迷ったら従業員に確認する！
- つぎに詳しく手順を示します。

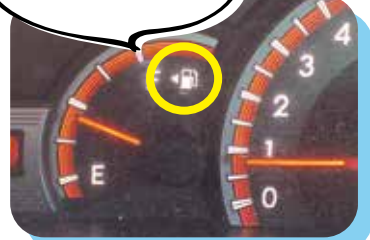
手順1

エンジン停止

地面にペイントされた場所に車を止め、必ずエンジンを停止しましょう。給油作業は一人で行います。同乗者、特に子どもは給油中、近づかせないようにしましょう。



給油口の位置をマークが示しています(◀)



自動車のスピードメーター燃料マークの横にマーク(◀or▶)がついています。◀なら「自動車の左側」、▶なら「自動車の右側」に給油口があります。

手順2

油種などを選択・操作

計量機のパネルに表示される、決済方法、油種（レギュラー、ハイオク、軽油）及び給油量（満タン or 数量は任意に設定できます）を選択し、操作します。特に自動車には適した油種が決まっています。レンタカーなど自家用車以外の自動車に給油する際は、必ず給油する油種を確認しましょう。

選択する油種の確認を必ずしましょう！！



手順3

静電気除去シートにタッチ

計量機の脇に静電気除去シートがありますので、給油前には必ず、素手で触れましょう。身体に溜まった静電気を取り除かないと静電気の火花でペーパーが燃えるおそれがあります！！

静電気の火花によるペーパーの燃焼（動画）はこちら→



全国危険物安全協会 YouTube



危険物災害をなくすために。全危協チャンネルでは危険物の正しい取り扱い方や、「危険物取扱者」の資格を持つ方々の活躍を発信していきます。

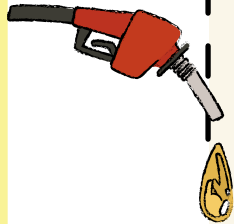
チャンネルはこちらからご覧になれます→



手順④

正しい操作で給油

- ① 静電気除去シートに手を触れたら、給油口キャップを開けます。
- ② 選択した油種の色 of 給油ノズルを手に取ります。
(一般的に赤色はレギュラー、黄色はハイオク、緑色は軽油)
- ③ 給油口に差し込みます。この時、給油ノズルは止まる位置 (給油口の奥) まで差し込みましょう。
☞安全ポイント①
- ④ 給油ノズルのレバーをしっかりと握って給油を開始します。
(軽く握っただけでは給油されません。)
選択した給油量に達すると自動的に給油が停止します。
☞安全ポイント②



安全ポイント①

Q: 「なぜ給油ノズルを止まる位置 (給油口の奥) まで差し込まなければいけないの?」

A: 給油中、給油口から燃料が吹きこぼれないようにするためです。

給油ノズルには「**オートストップ機構**」と呼ばれる安全機能が備えられています。
給油ノズルを止まる位置 (給油口の奥) まで差し込まないとこの機能は働きません。



※「**オートストップ機構**」とは

満タン時、給油ノズルの先端の孔が燃料でふさがれると給油が自動停止する機能です。
給油口の奥まで差し込まなければ、満タンを検知できず、燃料が溢れるおそれがあります。

安全ポイント②

給油中は火気厳禁!!

また、携帯電話を操作するなど、「ながら給油」は事故の元ですので、
給油中は給油に専念します。



手順⑤

最後に給油口キャップの閉め忘れに注意

給油が終わったら、給油口キャップを確実に閉め、給油ノズルを元の位置に戻します。
給油口キャップを閉め忘れのまま運転すると、給油口から燃料や蒸気が漏れる危険があります。



宝くじは、みんなの暮らしに役立っています。



宝くじは、図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、災害に強い街づくりまで、みんなの暮らしに役立っています。



一般財団法人日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。

一般財団法人
日本宝くじ協会
<https://jila-takarakuji.or.jp/>